

地域おこし協力隊スキルアップ研修(令和3年度)

1. 趣旨

委嘱後一定期間活動してきた地域おこし協力隊員が、任期終了後の地域への定着を見据え、活動内容や方針を整理する機会とする。また、隊員同士の意見交換を通して交流や情報交換を図る。

【起業支援の部】 任期終了後のキャリアの1つとして、起業に関するノウハウや、具体的なビジネスモデルの組み立て方を学ぶ。

【定着支援の部】 地域へ定着する(生活する)ためにはどのような手段があるのかを学び、任期終了後に向けて自身の活動や考えを整理する。

2. 日時・方法

令和4年3月9日(水)9:00~17:00 オンライン開催

【起業支援の部】9:00~12:00

【定着支援の部】13:30~17:00

3. 対象及び参加者数

地域おこし協力隊員 計 25 名(16 市町村)

4. 内容

【起業支援の部】

講義「地域に根ざしたビジネスモデルの組み立て方」

多田 朋孔 氏 特定非営利活動法人地域おこし 理事・事務局長

【定着支援の部】

① 協力隊 OBOG による「住み続けたい場所に住み続けるための座談会」

多田 朋孔 氏 新潟県十日町市 OB

杉山 豊 氏 長野県地域おこし協力隊、豊丘村 OB

倉橋 孝四郎 氏 王滝村 OB

副島 優輔 氏 佐久穂町 OB

牧内 久美 氏 立科町 OG

綿引 遥可 氏 下諏訪町 OG

② グループワーク

事前ワークの共有、質疑応答

定着に向けた学びや気づきの共有

③ 発表、講師・アドバイザーよりコメント



(当日の様子)

5. 参加者からの感想・意見(参加者アンケート結果より)

○起業プランをどのように立てればいいのか参考になりました。

○具体的なワークにより退任後の活動計画を考える上で大変参考になった。

○行政職員さんとの相談や関係づくりも大事だと思いました。

○OB OG の方の協力隊期間中の取り組みや工夫した点が参考になった。

○目指す方向性が似通っている他地域の隊員と、情報交換や交流、ワークができたのが良かった。

○コロナ禍でまだまだ他の地域の協力隊の方との交流が限られているのでつながりができてよかった。

(以 上)